

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	ドイツ語	
科目基礎情報							
科目番号	2022-616			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『どんだん解ける! ドイツ語ドリル』 (薦田奈美・山口久美子・岡部亜美・河崎靖, 朝日出版社)						
担当教員	(教養科 非常勤講師) ,小柴 浩稔						
到達目標							
1. 初級ドイツ文法を理解し、運用できる。2. 簡単なドイツ語の日常会話を聞き、話すことができる。3. 簡単なドイツ語の文章を読み、書くことができる。4. ドイツの歴史や日常生活等を学び、ドイツ (ヨーロッパ) 文化を理解することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 文法	初級ドイツ文法をよく理解し、よく運用できる。			初級ドイツ文法を理解し、運用できる。		初級ドイツ文法を理解し、運用できない。	
評価項目2 聞く・話す	簡単なドイツ語の日常会話をよく聞き、よく話すことができる。			簡単なドイツ語の日常会話を聞き、話すことができる。		簡単なドイツ語の日常会話を聞き、話すことができない。	
評価項目3 読む・書く	簡単なドイツ語の文章をよく読み、よく書くことができる。			簡単なドイツ語の文章を読み、書くことができる。		簡単なドイツ語の文章を読み、書くことができない。	
評価項目4 異文化理解	ドイツの歴史や日常生活等を学び、ドイツ (ヨーロッパ) 文化をよく理解することができる。			ドイツの歴史や日常生活等を学び、ドイツ (ヨーロッパ) 文化を理解することができる。		ドイツの歴史や日常生活等を学び、ドイツ (ヨーロッパ) 文化を理解することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
実践指針 (D1) 実践指針のレベル (D1-3) 【本校学習・教育目標 (本科のみ) 】 4 【プログラム学習・教育目標 】 D							
教育方法等							
概要	多くの日本人にとって欧米＝アメリカであり、外国語＝英語である。しかしながらヨーロッパ≠アメリカではないことはもちろんのこと、ヨーロッパ大陸で英語を母語としている人もほとんどいないのである。そこで第2外国語としてドイツ語を学習し、ドイツの文化やドイツ人の思考などを知ることにより、また違った価値観や考え方が養われていくのである。すなわち国際社会をより多角的に見られるようになったり、英語を客観視できるようになったり、さらには日本語や日本自体を客観的かつ多角的に捉えられるようになったりする力が養われるのである。						
授業の進め方・方法	教科書に沿って文法事項を学習し、その学習内容を定着させるために練習問題を行っていく。他の授業とは異なり、通年をとおして対面授業と遠隔授業 (オンデマンド配信) を交互に実施していく。ガイダンス時まで、各科ごとのスケジュールを示す予定。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業概要・目標および成績評価方法・基準の説明、ドイツ語の辞書・参考書の紹介など。		
		2週	Lektion 0 (プリント対応)		アルファベット、発音ポイントについて理解できる。		
		3週	Lektion 1		主語と人称代名詞 (1格) について理解できる。		
		4週	Lektion 2		規則動詞の人称変化について理解できる。		
		5週	Lektion 3		不規則動詞の人称変化について理解できる。		
		6週	Lektion 4		定冠詞・不定冠詞の格変化について理解できる。		
		7週	Lektion 5		人称代名詞 (3格・4格) について理解できる。		
		8週	Lektion 6		所有冠詞と否定冠詞について理解できる。		
	2ndQ	9週	Lektion 7		名詞の複数形について理解できる。		
		10週	Lektion 8		助動詞について理解できる。		
		11週	Lektion 9		疑問詞について理解できる。		
		12週	Lektion 10		指示代名詞について理解できる。		
		13週	Lektion 11		不定代名詞について理解できる。		
		14週	Lektion 12		形容詞の格変化について理解できる。		
		15週	Lektion 13		形容詞の比較変化について理解できる。		
		16週					
後期	3rdQ	1週	前期の復習		前期末試験の返却および解説など。		
		2週	Lektion 14		前置詞について理解できる。		
		3週	Lektion 15		数詞について理解できる。		
		4週	Lektion 16		接続詞について理解できる。		
		5週	Lektion 17		過去形について理解できる。		
		6週	Lektion 18		再帰動詞について理解できる。		
		7週	Lektion 19		分離動詞について理解できる。		
		8週	Lektion 20		完了形について理解できる。		
	4thQ	9週	Lektion 21		関係文について理解できる。		
		10週	Lektion 22		命令文について理解できる。		
		11週	Lektion 23		nichtの位置について理解できる。		

		12週	Lektion 2 4	受動文について理解できる。
		13週	Lektion 2 5	分詞の用法について理解できる。
		14週	Lektion 2 6	zu不定詞の用法について理解できる。
		15週	Lektion 2 7	接続法について理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	100
基礎的能力	70	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0